

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200080		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心いちたけ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字市武1234番地		
自己評価作成日	令和4年2月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年3月10日	外部評価確定日	令和4年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護福祉士の国家資格を保有する職員は年平均60%以上をキープしており、質の高い介護が提供出来る環境が整っている。 事業所の立地を活かして近所のスーパーへ買い物に行ったり、敷地内の遊歩道を散歩する等の生活支援を行うなど、戸外活動の充実を意識しつつ、ご利用者の能力に応じて自己決定できる環境作りに努めている。 また、コロナ禍において家族や地域との交流が希薄とならないよう、日頃の様子を電話や写真等で伝える活動を行っている。さらに、協力医療機関及び訪問看護ステーションとの医療連携により、ご入居者の健康管理を行い、ご入居者本人並びにご家族が安心して生活する事が出来るように支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

敷地が広く、敷地内には建物の他、遊歩道が整備され、周囲には桜の木が並び、春は満開となる。 コロナ禍において、感染対策の一環として面会は出来ないものの、入居者の方は散歩したり、敷地内の畑弄りなどをされており、個別でのドライブもされている。また、同一法人に複数の事業所があり、備蓄を共有されたり、コロナ対策として衣類のクリーニングサービスを実施されるなど、協力体制が出来ている。 職員の教育体制も充実しており、認知症ケアに対する理解もある為、入居者の方が良い意味で落ち着いて過ごされている。何か課題等あれば、何が原因なのか、本当に出来ないのか、など分析する習慣があり、入居者の方が最大限思い思い自由に過ごすことが出来るように検討・努力されている施設である。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当法人の事業目的及び運営方針の唱和を毎日の朝礼時に行っている。 また、事業所独自の理念を掲示し、職員間の意識の統一や意識の向上を図っている。	当法人の事業目的及び運営方針の唱和を毎日の朝礼時に行っている。 また、事業所独自の理念を掲示し、職員間の意識の統一や意識の向上を図っている。	事務所に理念は掲示されている。グループホーム独自の理念は平成25年に職員と話し合い改定されている。 何かの際は、理念に振り返り、個人の価値観での判断とならないように心がけられている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	定期的に近隣の幼稚園の園児並びに、小学校・中学校の学生に施設訪問して頂いたり、地域の祭りや季節の行事に積極的に参加している。 また、近所のスーパーを利用したり、運動場へ散歩に出かけたり等、地域資源の活用をしている。	定期的に近隣の幼稚園の園児並びに、小学校・中学校の学生に施設訪問して頂いたり、地域の祭りや季節の行事に積極的に参加している。 また、近所のスーパーを利用したり、運動場へ散歩に出かけたり等、地域資源の活用をしている。	学生の訪問は予定を組まれているわけではない。ちょうど調査前日に中学生が授業で作ったポーチを寄付しに来られたとの事である。コロナ禍であり、玄関での挨拶になったとの事だが、友好的な関係が構築されており、また、その関係の継続が出来ていると感じた。 今は、幼稚園の訪問や地域の夏祭りはないが、区長さんとは密に連絡を取られ、緊急時の応援依頼などが出来る体制がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設見学の際には、ご入居者への支援の方法や施設の取り組み内容を具体的にお伝えしている。 当施設のサービスを一方的に説明するのではなく、あくまで地域貢献の為の情報共有を実践する立場を意識している。	施設見学の際には、ご入居者への支援の方法や施設の取り組み内容を具体的にお伝えしている。 当施設のサービスを一方的に説明するのではなく、あくまで地域貢献の為の情報共有を実践する立場を意識している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ご入居者の状況や行事計画の報告を行っている。 また、季節に応じて感染対策の実施状況を報告する等の点にも留意している。 ご意見やご要望があれば改善に努め、改めて進捗報告する等の情報共有を行っている。	運営推進会議では、ご入居者の状況や行事計画の報告を行っている。 また、季節に応じて感染対策の実施状況を報告する等の点にも留意している。 ご意見やご要望があれば改善に努め、改めて進捗報告する等の情報共有を行っている。	コロナ禍においては書面会議であるが、オンライン面会や感染対策など意見は多く出ている。 ご家族からは入居者の状況をもう少し詳しく知りたいとの意見があり、何かあってからだけでなく、「何もない」事も報告するようになったとの事。また、現在、テレビ電話をスムーズに出来るような体制作りに取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、自立支援ケア会議等に参加し、協力関係の構築に努めている。 また、管理者は地域の協議会の役員を担い、市町村が主催する研修やイベントに積極的に参加をしている。	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、自立支援ケア会議等に参加し、協力関係の構築に努めている。 また、管理者は地域の協議会の役員を担い、市町村が主催する研修やイベントに積極的に参加をしている。	事業所と市町村が連携を取って何かをすることは最近はない。 しかし、管理者が令和3年度の鳥栖地区グループホーム連絡協議会の会長を務められており、鳥栖地区の介護のオンライン研修の参加率を上げる為に、「ZOOM使用の研修会」を協議会主催で開催してくれないかと依頼があるなど、管理者との関わりはある。 運営推進会議にも行政の参加はあり、何かあれば、相談・連絡できる体制がある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、勉強会やカンファレンス等を通じて身体拘束を行わないケアの方法を職員間で意識し、認識の共有や統一を図っている。	身体拘束廃止に関する指針を掲示すると共に、勉強会やカンファレンス等を通じて身体拘束を行わないケアの方法を職員間で意識し、認識の共有や統一を図っている。	これまで拘束をしたことはない。 防犯上玄関の施錠をすることはあるが、希望があれば解錠している。 勉強会は法人でもあるが、グループホーム内でも実施されており、拘束の弊害等については理解されている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する勉強会を開催し、情報伝達及び情報の共有を図っている。また、管理者は高齢者虐待防止に関して職員への声かけや聞き取り、相談等を日頃から実践しており、不適切ケアを正し、虐待の芽を摘む視点を持って、取り組みを行っている。	高齢者虐待防止に関する勉強会を開催し、情報伝達及び情報の共有を図っている。また、管理者は高齢者虐待防止に関して職員への声かけや聞き取り、相談等を日頃から実践しており、不適切ケアを正し、虐待の芽を摘む視点を持って、取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自治体主催の外部研修への参加を行い、権利擁護に関する制度等への理解を深めている。実際に成年後見人制度を活用している事例にふれる事で、制度導入イメージを構築し、実際の支援に結び付けている。	自治体主催の外部研修への参加を行い、権利擁護に関する制度等への理解を深めている。実際に成年後見人制度を活用している事例にふれる事で、制度導入イメージを構築し、実際の支援に結び付けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の締結並びに解約・改定時は、管理者がご利用者やご家族に対して十分な説明を行い、双方の理解と納得を得た上で契約を行っている。	入居契約の締結並びに解約・改定時は、管理者がご利用者やご家族に対して十分な説明を行い、双方の理解と納得を得た上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内の各階に要望BOXを設置すると共に、来訪者が見やすい場所に相談窓口の掲示を行っている。 行事開催後にはアンケートを収集し、運営推進会議等で聴取した意見や要望の内容及び取り組みを報告している。	施設内の各階に要望BOXを設置すると共に、来訪者が見やすい場所に相談窓口の掲示を行っている。 行事開催後にはアンケートを収集し、運営推進会議等で聴取した意見や要望の内容及び取り組みを報告している。	要望BOXはあるが、来訪時や電話連絡時に言われる事が多い。入居前に比べ身体能力の低下を感じたご家族から日々の活動に対する意見があり、日常的に体操を増やす等検討されたことがある。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は毎月のカンファレンス開催時に各職員の意見や提案を聴取すると共に、毎週開催される法人の管理者会議時に代表者へ報告する事で、運営に反映出来るようにしている。 また、会議以外の場面でも日頃から声かけを行うなどして、意見を言いやすい環境作りに努めている。	管理者は毎月のカンファレンス開催時に各職員の意見や提案を聴取すると共に、毎週開催される法人の管理者会議時に代表者へ報告する事で、運営に反映出来るようにしている。 また、会議以外の場面でも日頃から声かけを行うなどして、意見を言いやすい環境作りに努めている。	職員からは物品購入についての意見が多い。浴室の座面が回転するシャワーチェアや、遊歩道の設置は職員の意見が反映されている。 また、コロナ対策やプライベートな時間の確保の為、ホームの買い物はインターネットを利用する事で改善されたとの事。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自の就業状況は、定期的な面談で把握・評価すると共に、それぞれの目標を明確にすることで、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを全職員で検討し合っている。	職員各自の就業状況は、定期的な面談で把握・評価すると共に、それぞれの目標を明確にすることで、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを全職員で検討し合っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は定期的な職員面談で個々のケアの実際や力量・改善点を把握し、数値化してフィードバックしている。 また、次のステップに向け法人内外の研修を案内し、本人が主体的に参加できる機会を設けている。	管理者は定期的な職員面談で個々のケアの実際や力量・改善点を把握し、数値化してフィードバックしている。 また、次のステップに向け法人内外の研修を案内し、本人が主体的に参加できる機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のネットワーク会議や外部研修、イベント等に可能な限り参加し、同業者とのネットワーク作りを行うと共に、法人外の研修会へ参加する事で全体のサービスの質を向上させる取り組みを実践している。	地域のネットワーク会議や外部研修、イベント等に可能な限り参加し、同業者とのネットワーク作りを行うと共に、法人外の研修会へ参加する事で全体のサービスの質を向上させる取り組みを実践している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の際には、可能な限りご本人にもお越しいただき、施設の概要や雰囲気等に触れる事で、施設の実際を感じてもらえるように努めている。 画一的にサービスの説明をするのではなく、ご本人の困っている事やご要望の把握を心がけている。	施設見学の際には、可能な限りご本人にもお越しいただき、施設の概要や雰囲気等に触れる事で、施設の実際を感じてもらえるように努めている。 画一的にサービスの説明をするのではなく、ご本人の困っている事やご要望の把握を心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居をご希望されているご家族に対して、当事業所の契約内容やサービス内容の説明を丁寧かつ十分に行うよう努めている。 また、特に初期には連絡頻度を多くして、日頃の様子を伝える機会を増やすよう工夫を行っている。	施設入居をご希望されているご家族に対して、当事業所の契約内容やサービス内容の説明を丁寧かつ十分に行うよう努めている。 また、特に初期には連絡頻度を多くして、日頃の様子を伝える機会を増やすよう工夫を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学等の際に、ご本人及びご家族が必要としている支援内容を確認し、双方が希望する支援の方法を提供できるように、他職種連携を意識した説明に努めている。	施設見学等の際に、ご本人及びご家族が必要としている支援内容を確認し、双方が希望する支援の方法を提供できるように、他職種連携を意識した説明に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々のレク活動や毎日の家事作業等を通して、これまでの生活状況や暮らしの知恵をご入居者とのコミュニケーションの中から発掘し、互いに支えあえる関係性の構築に努めている。	日々のレク活動や毎日の家事作業等を通して、これまでの生活状況や暮らしの知恵をご入居者とのコミュニケーションの中から発掘し、互いに支えあえる関係性の構築に努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	敬老会等の行事にはご家族をお招きして交流を図ったり、面会時には積極的に情報提供に努めている。 また、定期的に電話で近況報告するなどして関係を構築している。	敬老会等の行事にはご家族をお招きして交流を図ったり、面会時には積極的に情報提供に努めている。 また、定期的に電話で近況報告するなどして関係を構築している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の際には、ご入居者各々の馴染みの場所までドライブしたり、地域行事への参加やかかりつけ医師への通院、個人が通っていた場への継続的な参加を支援する等、これまでの関係が途切れないように支援している。	外出の際には、ご入居者各々の馴染みの場所までドライブしたり、地域行事への参加やかかりつけ医師への通院、個人が通っていた場への継続的な参加を支援する等、これまでの関係が途切れないように支援している。	コロナ禍ではあるが、散髪は、ご家族が対応できる方に関して、これまで行かれていた所を継続して利用されている方がいる。 現在は、面会を全面中止としているが、電話で会話されている方もいる。携帯電話を持ち込まれている方も3名おり、その他の方に関してもホームの電話を利用して取り次がれる事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のレクリエーションや日課、活動を通してご入居者同士が関わり合い、支えあえる環境作りに努めると共に、必要に応じて職員が介入する事で、ご入居者が孤立せず、安心した生活が送れるよう支援している。	毎日のレクリエーションや日課、活動を通してご入居者同士が関わり合い、支えあえる環境作りに努めると共に、必要に応じて職員が介入する事で、ご入居者が孤立せず、安心した生活が送れるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も定期的にお便りを送付したり、ご自宅に訪問する等のこれまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。	サービス終了後も定期的にお便りを送付したり、ご自宅に訪問する等のこれまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者それぞれに担当職員を配置し、ご入居者の思いや要望を随時確認できるように努めている。 また、毎月のケア会議やカンファレンス時には職員間で新たな気づきや意見を確認する場面を設け、集約した情報は本人本位を念頭に改善を図っている。	ご入居者それぞれに担当職員を配置し、ご入居者の思いや要望を随時確認できるように努めている。 また、毎月のケア会議やカンファレンス時には職員間で新たな気づきや意見を確認する場面を設け、集約した情報は本人本位を念頭に改善を図っている。	担当職員は、日々の関わりの中で思いの把握に努めている。意思表示が困難な方に関しては、ご家族から以前の情報を聞いたりして予測したり、表情をよく見て把握するようにされている。ケア会議では、担当者が中心となって情報発信しており、職員同士の共有も出来ている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各ユニットの計画作成担当者は、サービス利用開始前に、本人及びご家族へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を収集している。サービス利用開始後も継続して情報収集に努めるなどして、これまでの暮らしを尊重した生活が送れるようにしている。	各ユニットの計画作成担当者は、サービス利用開始前に、本人及びご家族へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を収集している。サービス利用開始後も継続して情報収集に努めるなどして、これまでの暮らしを尊重した生活が送れるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的にアセスメントを行い、各担当者と共に現状の把握に努めている。 また、日々の暮らしの様子や心身状態の状況等は個人記録に記載し、その他の細かな気づきは申し送りノートを活用して、職員間の情報共有を図っている。	定期的にアセスメントを行い、各担当者と共に現状の把握に努めている。 また、日々の暮らしの様子や心身状態の状況等は個人記録に記載し、その他の細かな気づきは申し送りノートを活用して、職員間の情報共有を図っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各ユニットの計画性担当者を主体として、毎月のケア会議開催時に職員間で話し合う場を設けている。 また、サービス担当者会議開催時には本人並びにご家族の意向を確認し、現状に即した介護計画の作成に努めている。	各ユニットの計画性担当者を主体として、毎月のケア会議開催時に職員間で話し合う場を設けている。 また、サービス担当者会議開催時には本人並びにご家族の意向を確認し、現状に即した介護計画の作成に努めている。	サービス担当者会議には、管理者、計画作成担当者、介護担当職員、ご家族の参加とされており、コロナ禍においてもご家族には玄関先で意見を伺われている。 現状に即さないような要望等があれば、それについて検討し、ホームで出来る事出来ない事を吟味し、よく説明された上で、出来るところは積極的に実施されている。 入居者の一人が、敷地外へ一人で散歩に行かれるのもその一つである。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者の日々の様子やケアの実践と、その反応、結果を個別記録に記入している。 また、各職員の気づきは申し送りノートや日々の申し送り時に報告し、情報共有が出来る工夫を敷いている。	ご利用者の日々の様子やケアの実践と、その反応、結果を個別記録に記入している。 また、各職員の気づきは申し送りノートや日々の申し送り時に報告し、情報共有が出来る工夫を敷いている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況及び要望に応じて、既存サービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人やご家族の状況及び要望に応じて、既存サービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物へ出かける際には近所のスーパーを利用したり、地域行事に参加する等の活動を継続している。 また、ボランティアの積極的な受入れを行うなどして地域資源の活用を心がけている。	買い物へ出かける際には近所のスーパーを利用したり、地域行事に参加する等の活動を継続している。 また、ボランティアの積極的な受入れを行うなどして地域資源の活用を心がけている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	かかりつけ医の確認を行うと共 に、本人及びご家族の希望に合 わせた対応をしている。 入居時には必要と考えられる医 療機関との具体的な連携の方法 等を検討し、適切な医療を受け られるよう努めている。	かかりつけ医の確認を行うと共 に、本人及びご家族の希望に合 わせた対応をしている。 入居時には必要と考えられる医 療機関との具体的な連携の方法 等を検討し、適切な医療を受け られるよう努めている。	入居前のかかりつけ医を継続さ れても、ホームの協力医療機関 に変更されても良い。 受診は、基本ご家族で対応する ようにされているが、緊急時など には職員が対応する事もある。 受診時は、状況報告書を準備さ れ、適切な医療に繋がられている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	訪問看護師による定期訪問時 には、ご利用者の日々の様子や気 づき等を報告・相談している。 また、異常があれば直ぐに主治 医及び訪問看護師に報告する 体制を整えており、適切な受診 や看護を受けられるように支援 している。	訪問看護師による定期訪問時 には、ご利用者の日々の様子や気 づき等を報告・相談している。 また、異常があれば直ぐに主治 医及び訪問看護師に報告する 体制を整えており、適切な受診 や看護を受けられるように支援 している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。又は、そうした場合に備えて病 院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院した際には、 ADL情報のみならず、施設での 生活状況や普段の様子、支援を する上でやっている工夫等の細 かな情報提供に努めている。 また、施設で対応可能な医療依 存度やリハビリ機能を説明する ことで、できるだけ早期に退院で けるように情報交換を行っている。	ご利用者が入院した際には、 ADL情報のみならず、施設での 生活状況や普段の様子、支援を する上でやっている工夫等の細 かな情報提供に努めている。 また、施設で対応可能な医療依 存度やリハビリ機能を説明する ことで、できるだけ早期に退院で けるように情報交換を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には重度化した場合や終末期に向けた方針の説明、確認を行っている。 入居後も本人及びご家族と重ね重ね意向の確認を行うなどして、主治医や訪問看護師、介護職員、その他関係者と情報を共有し、チームで支援できるように取り組んでいる。	契約時には重度化した場合や終末期に向けた方針の説明、確認を行っている。 入居後も本人及びご家族と重ね重ね意向の確認を行うなどして、主治医や訪問看護師、介護職員、その他関係者と情報を共有し、チームで支援できるように取り組んでいる。	ターミナルケアも実践されている。特別な対応が必要となる時は、その都度スタッフ間で共有し、ケアに繋がられている。ここ2年で3名ほどの方を看取られたとの事。 コロナ禍ではあるが、看取りの場合、一定条件を満たせば、ご家族は中に入る事も可能とされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に備え、定期的に研修会や勉強会の実施を行うことで実践力を身につけられるようにしている。 また、マニュアルを整備したり、入職者にはこれを必ず確認、説明する事で誰でも初期対応が出来るよう工夫をしている。	急変時や事故発生時に備え、定期的に研修会や勉強会の実施を行うことで実践力を身につけられるようにしている。 また、マニュアルを整備したり、入職者にはこれを必ず確認、説明する事で誰でも初期対応が出来るよう工夫をしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中及び夜間を想定した消防避難訓練を定期的実施している。 また、区長をはじめとする地域住民の参加を呼びかけるなどして、協力体制の構築に努めている。	日中及び夜間を想定した消防避難訓練を定期的実施している。 また、区長をはじめとする地域住民の参加を呼びかけるなどして、協力体制の構築に努めている。	訓練は5月と10月に実施されている。コロナ禍でもあり、地域住民の参加が出来ないが、区長さんとは普段から連絡を取っており、緊急時は、応援連絡を行ってもらうように役割も決められている。 災害に関してのマニュアルは現在作成中である。水害の場合、垂直避難とは決められている。本部に備蓄があり、災害が予測される時は、事前に取りに行ったり、近所で購入する等して対策を取られている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症ケアや接遇マナーに関する勉強会を開催し、ご利用者の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めている。また、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを意識し、カンファレンス等で振り返りの場を設けている。	認知症ケアや接遇マナーに関する勉強会を開催し、ご利用者の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めている。また、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを意識し、カンファレンス等で振り返りの場を設けている。	年間計画で勉強会を組まれている。コロナ対策もあり、最近は動画視聴が多いが、感想など意見を出すようにし、それをまとめて周知されている。 職員に不適切な対応があれば、正社員が指摘されている。また、互いが言えるような関係になるようにと指導されている。必要があれば面談を行い原因を探って根本からの解決に繋がられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご利用者個別の思いや希望を確認すると共に、ご利用者自身で決定できる声かけに努めている。	日常生活の中でご利用者個別の思いや希望を確認すると共に、ご利用者自身で決定できる声かけに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者の気分や体調、意向に合わせた個別のケアを大切にしている。また、日々の日課はあくまで目安であり、ご利用者自身のペースに合わせた支援を意識している。	その日のご利用者の気分や体調、意向に合わせた個別のケアを大切にしている。また、日々の日課はあくまで目安であり、ご利用者自身のペースに合わせた支援を意識している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者それぞれの希望に応じて、毎月訪問いただく訪問理美容へ伝えている。また、行きつけの美容室があればご家族協力のもとに通い続けられるよう支援の工夫を行っている。	ご利用者それぞれの希望に応じて、毎月訪問いただく訪問理美容へ伝えている。また、行きつけの美容室があればご家族協力のもとに通い続けられるよう支援の工夫を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の調理以外にも、季節に合わせたお菓子作りや調理レクを行ったりして、一人ひとりの嗜好を大切にしたり、力を活かしながら一緒に食事を楽しめるよう支援している。	毎日の調理以外にも、季節に合わせたお菓子作りや調理レクを行ったりして、一人ひとりの嗜好を大切にしたり、力を活かしながら一緒に食事を楽しめるよう支援している。	副菜は業者を入れられている。業者がメニューも作成されており、季節に応じた行事食もある。ホームでは湯煎対応のみであり、調理の手伝いを入居者がされる事はほばない。配膳などは出来る方はされている。食器や嗜好品の持参は可能である。畑で採れた野菜で白和えを作ったり、おやつ作りなどレクリエーションの中で調理に関わることはある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者一人ひとりの食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食や各々の嗜好に合わせた補食を準備している。	ご利用者一人ひとりの食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食や各々の嗜好に合わせた補食を準備している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に必ず歯磨きの声かけを行っている。必要に応じて介助をしたり、各々の状態にあったアイテムの選定をしたり、訪問歯科の往診を依頼するなどして口腔内の清潔保持に努めている。	毎食後に必ず歯磨きの声かけを行っている。必要に応じて介助をしたり、各々の状態にあったアイテムの選定をしたり、訪問歯科の往診を依頼するなどして口腔内の清潔保持に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録をとることで一人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。 把握した情報は日々の申し送りやカンファレンス等で共有し、可能な限りトイレでの排泄や自立に向けた支援の構築ができています。	排泄の記録をとることで一人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。 把握した情報は日々の申し送りやカンファレンス等で共有し、可能な限りトイレでの排泄や自立に向けた支援の構築ができています。	排泄パターンの把握で、入居時にオムツ対応だった方が、今はリハビリパンツとパットを使用し、トイレで排泄できるようになられた方がいる。食後すぐに排泄があると分かり、誘導時間を調整する事で失禁が減った方もいる。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を第一選択とせず、運動をしたり乳製品や食物繊維を摂る等の工夫をしている。個別の排泄パターンの把握に努め、可能な限り自然な排泄ができるよう支援をしている。	下剤を第一選択とせず、運動をしたり乳製品や食物繊維を摂る等の工夫をしている。個別の排泄パターンの把握に努め、可能な限り自然な排泄ができるよう支援をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調に応じて入浴日を変更したり、午前や午後の入浴を希望や気分等を尊重して臨機応変に変更している。 また、入浴剤を使用するなど入浴を楽しめる工夫を行っている。	体調に応じて入浴日を変更したり、午前や午後の入浴を希望や気分等を尊重して臨機応変に変更している。 また、入浴剤を使用するなど入浴を楽しめる工夫を行っている。	入浴は漏れのないように計画立てており、週2回と決められているが、要望があれば応えられており、週4～5回入られる方もいる。 入浴剤は日常的に使用され、保湿効果も上がったとの事。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の生活リズムや馴染みの習慣を考慮し、日中に休憩時間を設けたり、室温や寝具調整を行うなどして安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご利用者の生活リズムや馴染みの習慣を考慮し、日中に休憩時間を設けたり、室温や寝具調整を行うなどして安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に、その内容を全職員が把握・理解できる体制を整備している。 症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に直ちに相談するようになっている。	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に、その内容を全職員が把握・理解できる体制を整備している。 症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に直ちに相談するようになっている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の生活歴や強みを活かした役割を日常生活内やレク活動等に活用し、気分転換が図れるよう支援している。	ご利用者の生活歴や強みを活かした役割を日常生活内やレク活動等に活用し、気分転換が図れるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や体調が良い日には施設近隣を散歩したり、外出や外泊希望時にはご家族の協力のもと出かけられるように支援している。	天候や体調が良い日には施設近隣を散歩したり、外出や外泊希望時にはご家族の協力のもと出かけられるように支援している。	コロナ禍でも、敷地内を散歩したり、個別に買い物やドライブを行う等して、感染対策の元で出来る範囲の外出支援をされている。 入居者のお一人は、外の散歩が日課であり、ご家族とよく話した上で、出来る範囲の見守りをしながらお一人で敷地外に行かれる方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の自己管理が可能な方や希望者に関しては、本人やご家族に確認の上、所持が出来るようにしている。 また、外出時には所持金を使う事が出来るように必要な支援を行っている。	金銭の自己管理が可能な方や希望者に関しては、本人やご家族に確認の上、所持が出来るようにしている。 また、外出時には所持金を使う事が出来るように必要な支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には電話をかけたり、電話と取り次ぐ等の対応を行っている。また、必要であればスムーズな会話ができるよう職員がコミュニケーションの仲介や手紙のやり取りができるよう支援している。	希望時には電話をかけたり、電話と取り次ぐ等の対応を行っている。また、必要であればスムーズな会話ができるよう職員がコミュニケーションの仲介や手紙のやり取りができるよう支援している。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを行っている。 また、季節の花を活けたり育てるなどして居心地のよい空間作りに努めている。 不快をまねくような音や光等が無いように常に注意している。	季節に応じた飾り付けを行っている。 また、季節の花を活けたり育てるなどして居心地のよい空間作りに努めている。 不快をまねくような音や光等が無いように常に注意している。	大きなリビングには、入居者と共に作成された壁飾りや、入居者の書初めが展示されている。 普段の清掃は職員が行っているが、消毒など手伝われる入居者もいる。リビングには加湿器を設置されており、テーブルにはアクリル板で感染対策にも努められている。 テーブル席は決められているが、状況によって臨機応変に席替えされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間内にはソファを設置する等してパブリックスペースを設けている。 また、空間を広く使用でき、解放感を感じられるような家具の配置に努めている。	共有空間内にはソファを設置する等してパブリックスペースを設けている。 また、空間を広く使用でき、解放感を感じられるような家具の配置に努めている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはこれまで使い慣れた家財道具を可能な限りお持ちいただくよう説明したり、物の配置を入居前の状態に可能な限り同じにするなどして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時にはこれまで使い慣れた家財道具を可能な限りお持ちいただくよう説明したり、物の配置を入居前の状態に可能な限り同じにするなどして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用空間同様、清掃は職員で対応されているが、手伝われる入居者もいる。危険物以外は持ち込み可能であり、テレビや冷蔵庫を持参されている方もいる。 ベッドは備え付けだが、寝具類は持参。入居前に使用されていた環境に近い居室作りが可能となっている。	

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)			1. 毎日ある
		○	○	2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない